



## システム コンフィギュレーションの概要

---

Cisco Unified Communications システム全体を設定する際は、まずシステム レベルのコンポーネントの設定から始め、個々のデバイスの設定へと作業を進めます。たとえば、デバイス プール、ルート リスト、ロケーション、コーリング サーチ スペースなどの関連コンポーネントを設定後、これらの設定済みのコンポーネントを使用して電話機および回線を設定します。

この章では、Cisco Unified Communications ネットワークを構成するコンポーネントを設定する順序、つまり Cisco Unified Communications システムを設定する際の全体的なフローを説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- [基本設定のフロー \(P.3-2\)](#)
- [参考情報 \(P.3-6\)](#)

## 基本設定のフロー

表 3-1 では、IP テレフォニー システムを設定するときに必要な一般的な作業手順を示しています。特定の機能やコンポーネントを使用しない場合は、その手順は省略してください。この表に示す設定手順では、多少の柔軟性を持たせてあるため、場合によっては、複数のステップを交互に実行したり、あるステップに何度か戻ったりして、順序を変えて設定作業を進めることも可能です。

表 3-1 全体的な設定チェックリスト

設定ステップ	手順および関連項目
<b>ステップ 1</b> Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアを 1 台のサーバにインストールします。このサーバはデータベースサーバとして機能し、最初のサーバと呼ばれます。  他のサーバをインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [サーバの設定 (Server Configuration)] でそのノードを必ず定義してください。この操作は、セキュリティ上必要です。	『Cisco Unified Communications Manager Release 6.0(1) インストールレーションガイド』  『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サーバの設定」
<b>ステップ 2</b> Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアを他のサーバにそれぞれインストールします。	
<b>ステップ 3</b> 必要に応じて、データベースサーバにサービスを追加します。	『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』
<b>ステップ 4</b> システム レベルの設定値を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager (自動登録の有効化や開始電話番号 (DN) の設定など、Cisco Unified Communications Manager 固有の要素が必要なことに注意してください)</li> <li>• Cisco Unified Communications Manager グループ</li> <li>• 日付 / 時刻グループ</li> <li>• リージョン</li> <li>• ソフトキー テンプレート (ソフトキー テンプレートはデバイス プール設定の必須フィールドを示しますが、標準テンプレート オプションも提供します)</li> <li>• デバイス デフォルト</li> <li>• エンタープライズ パラメータ</li> <li>• ロケーション</li> </ul>	システム レベルのコンフィギュレーション設定 (P.5-1)

表 3-1 全体的な設定チェックリスト (続き)

設定ステップ		手順および関連項目
<p><b>ステップ 5</b></p>	<p>ダイヤルプランを設計し、設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AAR グループ</li> <li>• アプリケーションダイヤル規則 (オプションで、Cisco Unified Communications Manager Assistant および Cisco WebDialer が使用します)</li> <li>• パーティション</li> <li>• コーリング検索スペース</li> <li>• ルートフィルタ</li> <li>• ルートグループおよび回線グループ</li> <li>• ルート/ハントリスト</li> <li>• ルートパターン (ルートパターンをゲートウェイに割り当てる場合は、ルートパターンをゲートウェイ用に設定する前にゲートウェイを作成する必要があります)</li> <li>• トランスレーションパターン</li> </ul>	<p>パーティションおよび コーリング検索スペース (P.15-1)</p> <p>ルートプランの概要 (P.17-1)</p>
<p><b>ステップ 6</b></p>	<p>メディアリソースを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会議ブリッジ</li> <li>• トランスコーダ</li> <li>• アナウンサー</li> <li>• メディアターミネーションポイント</li> <li>• 保留音オーディオソース</li> <li>• 保留音サーバ</li> <li>• メディアリソースグループ</li> <li>• メディアリソースグループリスト</li> </ul>	<p>メディアリソースの管理 (P.23-1)</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「メディアリソースグループの設定」</p>
<p><b>ステップ 7</b></p>	<p>デバイスプールの設定値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager グループ</li> <li>• 日付/時刻グループ</li> <li>• リージョン</li> <li>• ソフトキーテンプレート</li> <li>• SRST リファレンス</li> <li>• 自動登録用コーリング検索スペース</li> <li>• メディアリソースグループリスト</li> <li>• ネットワーク保留 MOH オーディオソース</li> <li>• ユーザ保留 MOH オーディオソース</li> <li>• ネットワークロケール</li> <li>• ユーザロケール</li> </ul>	<p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「デバイスプールの設定」</p>
<p><b>ステップ 8</b></p>	<p>次のいずれかのボイスメッセージシステムをインストールし、設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部 (シスコ以外の) ボイスメッセージシステム</li> <li>• Cisco Unity ボイスメッセージシステム</li> <li>• Cisco Unity Connection ボイスメッセージシステム</li> </ul>	<p>SMDI ボイスメールの連動 (P.31-1)</p> <p>Cisco Unity のアドミニストレーションガイド</p> <p>Cisco Unity Connection のアドミニストレーションガイド</p>

表 3-1 全体的な設定チェックリスト (続き)

設定ステップ	手順および関連項目
<b>ステップ 9</b> ミートミー番号 / パターンを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ミートミー番号 / パターンの設定」
<b>ステップ 10</b> メッセージの受信番号を設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「メッセージ受信の設定」
<b>ステップ 11</b> 次の機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク、ダイレクトコールパーク</li> <li>• コールピックアップとグループコールピックアップ</li> <li>• 割り込み</li> <li>• 即時転送</li> <li>• Cisco Unified IP Phone サービス</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ</li> <li>• Cisco Unified Communications Manager Attendant Console</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「コールパークの設定」 <a href="#">コールピックアップグループ (P.35-1)</a> 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「即時転送の設定」 <a href="#">Cisco Unified IP Phone サービス (P.36-1)</a> 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Attendant Console (P.38-1)</a>
<b>ステップ 12</b> ゲートウェイをインストールし、設定します。	<a href="#">Cisco Unified Communications Manager 音声ゲートウェイの概要 (P.40-1)</a>
<b>ステップ 13</b> Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用してエンドユーザを追加します (LDAP サーバとの同期化が無効になっている場合)。  エンドユーザのクレデンシャルを管理します。  Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」

表 3-1 全体的な設定チェックリスト (続き)

設定ステップ	手順および関連項目
<b>ステップ 14</b> 電話機を設定およびインストールしてから、ユーザを電話機に関連付けます。また、電話ボタンテンプレートとソフトキーテンプレートを設定します。	<p><a href="#">Cisco Unified IP Phone (P.44-1)</a></p> <p><a href="#">ディレクトリの概要 (P.20-1)</a></p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキーテンプレートの設定」</p> <p>Cisco Unified IP Phone のアドミニストレーションガイド</p>
<b>ステップ 15</b> Computer Telephony Integration (CTI; コンピュータテレフォニー統合) アプリケーションのサポートを使用可能にし、必要な CTI アプリケーションをインストールおよび設定します。	<p><a href="#">コンピュータテレフォニー統合 (P.46-1)</a></p> <p>アプリケーション付属のマニュアル</p>

## 参考情報

### 関連項目

- [表 3-1](#) を参照してください。

### 参考資料

- *Cisco Unified Communications Manager Release 6.0(1) インストレーションガイド*
- *Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*
- *Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*
- *Cisco Unified IP Phone のアドミニストレーションガイド*